



2022年4月22日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル

代表者名 代表取締役社長 斎藤 悦郎

(コード：6755 東証プライム市場)

問合せ先 経営執行役 広報IR室長 加納 俊男

TEL (044) 861-7627

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年1月26日に公表した2022年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、当社は通期個別業績予想を開示していませんが、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなったことから、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	310,000	15,000	15,000	9,500	90.76
今回修正予想 (B)	284,000	8,400	11,400	3,700	35.35
増減額 (B - A)	△26,000	△6,600	△3,600	△5,800	
増減率 (%)	△8.4	△44.0	△24.0	△61.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	265,452	18,737	20,537	13,008	124.32

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、空調機において、海外向けの受注は引き続き堅調で、調達面でも以前に比べ改善傾向が見られるものの、工場出荷後の海運・港湾・陸運での物流停滞で深刻な影響を受けるとともに、自社工場や関係仕入先での新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動制限が散発的・断続的に発生し、さらに3月に入り上海市が都市封鎖されたことも重なり、売上高は前回予想を大きく下回る見通しです。

損益につきましては、素材・部品価格や海上運賃の高騰の影響を抑えるべくコストダウン等に努めたほか、経費削減を推し進めましたが、売上予想の修正に加え、第4四半期に見込んでいたタイ工場からの出荷分に対する為替のプラス影響が目減りしたことなどから、各利益とも前回予想を大きく下回る見通しです。

なお、今回業績予想を下方修正しましたが、物流停滞の影響により、工場からの出荷待ちもしくは輸送中の受注確定済み商品が多数あり、これらの売上計上は次期に持ち越しとなります。次期の見通しは現在精査中であり、上海での都市封鎖による調達・生産への影響や、ウクライナ危機に伴う資源価格上昇を背景とするコスト環境の悪化が想定されますが、空調機の需要は引き続き堅調で追加の売価改善も計画していることから、増収増益となる見込みです。また、調達方法・生産体制の見直しなどによるオペレーション改善および調達政策・設計プロセス革新などによるトータルコストダウンの推進を一層強化することで、収益力の拡充に取り組んでまいります。

3. 2022年3月期通期個別業績予想数値について

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前期実績 (A)	195,784	4,284	18,794	16,261	155.41
今回発表予想 (B)	206,000	1,800	12,100	11,200	107.01
増減額 (B - A)	10,216	△2,484	△6,694	△5,061	
増減率 (%)	5.2	△58.0	△35.6	△31.1	

4. 前期実績との差異の理由

上記「2. 修正の理由」と同様の理由により、前期実績から差異が生じる見通しです。

以上